



毛猛から下田へ 60kmの山旅

## 毛猛 未丈ヶ岳～毛猛山～浅草岳～光明山

佐貫

【日時】 2010年5月1日(土)～5日(水)

【メンバー】 L佐貫、棚橋

4月になっても気温の低い日が続き、ゴールデンウィークは五連休。去年からお気に入りリストの上位を占める春の下田が、当然のように行き先としてクローズアップされる。とはいっても下田と川内の周遊では標高の低い藪化した尾根で時間が読めないような気がして、それなら行ったことのない毛猛と下田をつないでみようと思いつくまでにさして時間はかからなかった。

出発当日になってメンバーの田村さんが急に不参加になり、何だか盛り上がりそうにない2人パーティーになってしまった。食料計画をやり直し、装備を少し変更して慌しく荷物を詰め直し、私は一足先に小出へ。ムーンライトに乗り長岡折り返しでやって来た棚橋さんと翌朝6時過ぎに合流した。駅前で大湯行きのバスを待っていると、タクシーがスーッと目の前で停まり、「佐貫さんですか？」と声をかけられる。シルバーライン入口で乗り換えるために予約していたタクシーだ。駅前でザックを持った私達を見てピンときたらしく、「メーターは予約したところから倒しますから、乗って行きませんか」と何と親切なお言葉！！さすが、新潟の誇るさわやかタクシーである。

5/1 曇り～晴れ 移動距離 8.8km

奥只見丸山スキー場のリフト運転開始と同時に2本乗り継ぎ、ゲレンデを離れ歩き始めた。大鳥沢と仕入沢の間の尾根に出ると、驚くほど雪が多く沢もきれいに埋まっている。以前の会山行(2007年4月上旬)の時よりも雪が多いのではないかと思える程だ。仕入沢は快適に滑れそうな感じ、そして未丈への尾根も変に割れているところもなく、これが5月連休の未丈なのかと目を疑ってしまうような景色がまわりに広がっている。

未丈までは広い雪尾根をゆるゆると登る。さすがに棚橋さんは眠そうだ。未丈の山頂はほんのちょっと藪が出ているだけだった。大鳥池方面に続く尾根はだだっ広い緩斜面で、横になってゴロゴロと下ってみたいような誘惑にかられる。c1352の赤柴山の手前で進むか泊まるか協議し、今日はここまでということに。夜は結構な冷え込みで、羽毛量200gのシュラフだった私は丸くなったり横向きになったりと一晩中寒さに震える羽目になってしまった。



未丈から広い尾根を下る

5/2 晴れ 移動距離 12.2km

気持ちよく締まった雪面にアイゼンを軋ませ出発。遠目に見ると急で濃そうな赤柴山までの藪は、取り付けば大したことはなかった。大鳥岳を越えるまではあまり良い幕場はなさそうな感じ。大鳥岳を過ぎ毛猛山の方角を見てみると、真っ黒な尾根がこちら側に落ちているのに気付きギョッとす。まさか、あれじゃないよね・・・一ノ沢岳(1215m)に着いて改めて毛猛を眺めると、先ほどの藪尾根は支尾根であることが分かってホッと



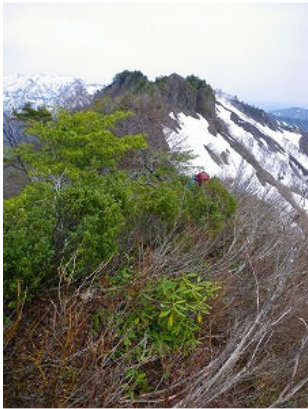
した。最低鞍部からの登り返しは勿論全く藪が出ていないわけではないが、予想よりもはるかに雪を拾えたので楽だった。むしろ、もう少しで山頂かと思っただけが意外に長くて大変だったような気がする。

さすがに毛猛の山頂は雪がない。太郎助山方面からの足跡がいくつも重なっており、さすが残雪期の人気ルートである。進む方向に目をやると、どうやら本当に「毛猛」チックに藪が出てくるのはこれからのようだ。次の目標である前毛猛はとても遠く見えるが、今日では行けるところまで頑張らなくてはと思いきり始める。間もなく、軽装の単独行者が登ってくるのにすれ違った。c1268あたりまでは特段藪に入る必要もないまま下れたが、それを超えてまた一段降りてからは稜線の雪が落ちており、比較的にサタ目の多く見られる頂稜部分の藪をかき分けながら進むことになった。うっすらと踏み跡もあり、イメージしていた



割とあっさり毛猛に到着

「毛猛の密藪」にはほど遠い初級の藪。しかし問題はあれほど涼しかった気温がかなり上昇し、ほぼ無風とあって暑くてたまらないことである。稜線上には雪もなく、底を尽きそうな行動用の水を補給することもできないので、なるべく汗をかかないようゆっくりと進んでいくが、ふと気がつく背後にはさっきの単独行者が熊除けの鐘の音と共に迫っており、その速さに仰天した。



見た目ほど密藪ではない

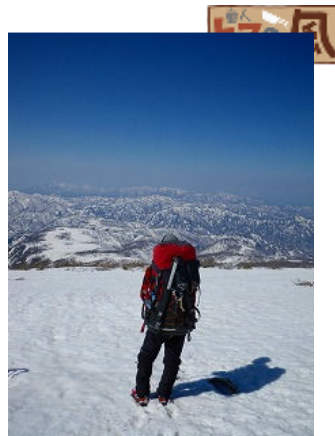
結局 c1176 を過ぎるまで雪の上には戻れず、暑さによるめきながら次の小ピークであり前毛猛への登り返しが始まる直前の c1001 を過ぎて間もなく、絶好の幕場を見つけこの日はそこで店じまい。午後になると暑さで消耗してくることが分かり、翌日からは二時半起床四時半出発と決定、「明日は浅草岳を越えられるのか」と不安に思いつつ休んだ。

5/3 晴れ 移動距離 14.4km

前毛猛への登りは幕場から見た通り藪が混じっていたが、実際に登り始めてみると意外と雪がつながっている。あれれと驚いているうちに前毛猛に着いてしまった。三角点を確認、次なる目標の浅草岳を眺めると、とても遠い…。

少しでも標高を落さないように、大鳥沢の右岸尾根から六十里越トンネルを越えるつもりでいたが、この尾根は前日の藪地帯同様にやや細く、従って何だか藪っぽい。反対側の緩やかな左岸尾根のトレースに誘われるようにこちらを下降し始めると、どうやら沢がずっと埋まっていそうな雰囲気だ。とはいえ慎重を期し、念のため c951 の先までは尾根上を辿り、その先で支尾根から沢に降りると無事に国道に出ることができた。行き交う車に「小出まで乗せてやるよ」と言われたらビール飲みたさに下山してしまっただろう。そうならないうちに涙を飲んで浅草岳へと再び登り始めた。

前日以上に、悲しいほどお天気。南岳にさしかかるあたりから頭がクラクラするような暑さだ。地形図で見る以上にCカーブを描いているように見える稜線を鬼ヶ面、北岳、前岳と辿って行く。南岳から浅草岳まで吊橋があればいいのに！ほとんど雪に覆われた登山道を汗だくで歩き、人っ子一人いない浅草岳に着いたのは14時半。遙か遠くまで視界は良好で、五味沢に下山する口実もない。やっと登りが終わった嬉しさに広大な尾根を駆けるように下り、新潟・福島県境である大三本沢左岸尾根に乗って標高1020mで行動終了とした。



下田が見えてきた

5/4 曇り～晴れ 移動距離 15.4km

いつまでこの好天と雪尾根は続いてくれるのか。標高をほとんど変えずにうねうねと続く県界尾根は、視界がなければ迷いそうなところが随所にある。秋の景色とは全くの別世界となった田代平（釧路湿原のよう！）を左手に見下ろす頃には気圧の谷の通過と思われる風がやや強くなった。登り返して丸倉山（1181m）、なおも行く手にはたおやかな雪尾根が続いている。左手の五十嵐川の源流域の地形の不思議なことといったらない。右手の叶津川も、最初は深く切れ込んだ底に流れていたのが次第に平らな源頭地帯へと変化していく。



五兵衛小屋まで雪尾根

以前ヒグラ沢を遡行して叶津川へ下降した時の、源頭の素晴らしいブナ森はこのあたりだったのかと記憶を確かめながら一歩ずつ足をを進める。こんなに素敵な場所がここにあることを見つけた個人的な喜びは、大きい。

高曇りで涼しかったのは11時頃までで、その後は一気に空も晴れ上がり照り返しがきつくなった。五兵衛小屋まで雪がつながっていたことに感謝し、反対側にゆるやかに広がる砥沢川源頭を見て「ここに泊まりたい」と思う。しかし「もう少し進んだ方が」という棚橋さんの反対に遭い、藪稜線を更に北上することになった。一つ先の小ピーク（926m）のあたりで電話(mova)が通じたので、現在地を会に連絡する。すぐに雪が復活し、少し先に砥石川の大滝が遠望できる素晴らしい幕場を発見して行動終了。大々的に乾し物をして消臭を図った。



光明山手前からは薄い踏み跡があった

5/5 晴れ 移動距離 9.4km

今日も4時半出発。さすがに30分もすると稜線上から雪が消え、光明山までの稜線が真っ黒になった。幸い背丈を越すような密藪というわけでもなく、わさわさとかき分けなければ普通に進める程度なので一安心。光明山に近づくにつれ踏み跡らしきものが出てきて、落ちていた古い鉈に先人の足跡の名残を感じることができる。こういう発見は大好きだ。山頂に立ち、歩いて来たルートを振り返ると、浅草岳ですらものすごく遠くに見える。左右の足を交互に前に出すこ



との繰り返しで、こんなところまで届くのが妙に不思議に感じられた。



光明山に着いた！

んと会い、しばし立ち話。登山道下部はさらに分かり難い箇所もあったが、探しながら歩いているうちにやっと雪が消えた。結局標高 350m くらいまでは雪が残っていたのだった。

名残の桜吹雪が舞う笠堀ダムのカモシカ像が今回のゴール。タクシーでいい湯らていに向かい、いつもの温泉打ち上げコースだ。汗を流した後は燕三条駅行きバスの時間まで50分一本勝負という感じで集中して大ジョッキを二杯空け、つまみ・定食を欠食児童のように平らげ、山行の成功を祝った。またひとつ、記憶に残る山行が諸条件に恵まれて出来たことを今はとてもうれしく思っている。



はるばる来たぜ笠堀〜♪

#### 【メンバーの感想】

2万5千円で5枚、踏破距離 60km におよぶ壮大な計画。残雪期なのでラッセルは無いが、逆に藪漕ぎが想定されていた。幸い、予想以上の残雪に助けられた。2人パーティーなので装備の削りようもなく重荷ではあったが、挫けることなく計画通りのルートを歩き通せて大満足の結果が得られた。

来シーズンは厳冬期に大風呂敷ルートを計画し、それを実行できるように精進したい。(棚橋)

#### 【行程】

- 5/1 奥只見丸山スキー場グレンデトップ(8:25)～未丈ヶ岳(12:50/13:00)～赤柴山手前C1(13:45)
- 5/2 C1(5:00)～大鳥岳(6:45)～毛猛山(10:45/55)～C1176(13:25)～c1001付近C2(14:30)
- 5/3 C2(4:30)～前毛猛山(5:45)～六十里越国道(7:05/30)～浅草岳(14:30)～c1020付近C3(15:20)
- 5/4 C3(4:25)～八十里越街道(6:50)～五兵衛小屋(12:00/20)～c876付近C4(13:30)
- 5/5 C4(4:30)～光明山(7:15/35)～万之助山(9:30/45)～笠堀ダム(12:15)

【地形図】奥只見湖、未丈ヶ岳、毛猛山、守門岳、光明山



毛猛・下田／未丈ヶ岳～毛猛山～光明山  
【日 時】 2010年5月1日(土)～5日(水)  
【メンバー】 佐貫 (L)、棚橋  
【作 図】 棚橋